九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

Mutual Regulation between Raf/MEK/ERK Signaling and Y-Box-Binding Protein-1 Promotes Prostate Cancer Progression

今田，憲二郎

https://hdl.handle.net/2324/1441077

出版情報：九州大学，2013，博士（医学），課程博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（2）

KYUSHU UNIVERSITY

論文審査の結果の要旨

これまでY-box-binding protein-1(YB-1)は、前立腺がんの進展に重要であることが示されていたものの、YB-1とMAPキナーゼとの関係は十分解明されていませんでした。

申請者は、YB-1は定常状態では細胞質でRAF-1やERK2と複合体を形成して、これら蛋白質を安定化していること、上皮成長因子（EGF）刺激後にはMAPキナーゼ経路依存性にYB-1がリン酸化されて、細胞質におけるこれら複合体形成が壊れ、リン酸化されたERK2やYB-1は核移行することを、前立腺がん細胞株を用いて明らかにしました。さらに前立腺がん症例標本を用いて、リン酸化YB-1やERK2蛋白質の核発現量と術後再発期間との間に相関があることから、これらが良い予後マーカーとなることも報告しました。

このように申請者はYB-1とMAPキナーゼ経路の生化学的な関係を明らかにするとともに、これら分子が前立腺がんの治療標的となる可能性も示しました。

以上の成績はClinical Cancer Research誌に掲載され、この方面の研究に大きなインパクトを与えた意義ある成果であると考えられます。本論文についての試験はまず論文の研究目的、方法、実験成績などについて説明を求め、各調査委員より専門的な観点から論文内容及びこれに関連した事項について種々質問を行い、満足すべき回答を得ました。

以上のことから、調査委員合議の結果、試験は合格であると判断致しました。